歴史と文教の城下町

広報 たかなべ

2019
11
No.421

災害復興の灯（あかり）を高鍋から全国へ

第19回 高鍋城灯籠まつり

町を代表するイベント「高鍋城灯籠まつり」が10月26日に行われ、約一万五千人の来場者でにぎわいました。このまつりは、高鍋藩の名君である秋月種茂公が創設した明倫堂の教え「人の倫」を育む心「精神文化」に灯（あかり）をともし、その教えを受け継ぎ、伝えていくことを目的としたまつりです。

当初は台風の影響で延期になりましたが、まつり当日は好天に恵まれ、ステージイベントや物産展などに町内外から多くの来場者が訪れ、にぎわいを見せていました。今年も約1万基の創作灯籠や竹灯籠などによって会場が幻想的な灯に包まれました。

TAKANABE CASTLE LANTERN FESTIVAL 2019

高鍋城灯籠まつりは、実行委員会メンバーをはじめ多くのボランティアの皆さんによって支えられ、開催されています。
その皆さんに心から感謝しながら、活動の軌跡を写真で紹介します。

「町民の日」記念式典・高鍋町社会福祉大会

9名と1団体が受賞

10月1日、町美術館で第53回「町民の日」記念式典・第52回高鍋町社会福祉大会が挙行され、町の発展に功績を残された9個人と1団体が受賞されました。

表彰式後に、参加者全員で町民憲章を唱和、町民歌を斉唱し町のさらなる発展を願いました。

受賞者は次のとおりです。

◇一般受賞者

◎町行政部門

山本　隆俊　さん
水町　茂　さん
加藤　智徳　さん
矢野　哲男　さん
宇治橋　和夫さん

◎教育文化部門

押川　隆夫　さん

◎社会福祉部門

大塚　照夫　さん

◇福祉関係受賞者

矢野　友子　さん
河野　節子　さん
高鍋町立高鍋東小学校合唱部

受賞者の皆さん

受賞者を代表して謝辞を述べる受賞者の山本さん

タカナベカイドウを町木に指定

10月１日、「タカナベカイドウ町木指定セレモニー」が町美術館で行われ、タカナベカイドウが町木に指定されました。

タカナベカイドウは、1985年に当時高鍋高校教諭だった南谷忠志さんが町固有の樹木である可能性を指摘し、2014年の日本植物分類学会で発表しました。

セレモニーでは黒木町長が、町内７団体から町木指定を求める要望を受けたことにも触れ、今回の指定の経緯を話しました。現在は宮崎植物研究会会長も務めている南谷さんも来賓として出席し、果樹研究所と共に行った共同研究でDNA解析するなどして町の固有種であると断定したと話しました。その後、高鍋自然愛好会の坂田佐一郎会長がタカナベカイドウの栽培方法について説明しました。

▲タカナベカイドウについて話す南谷さん

▲タカナベカイドウの花

タカナベカイドウとは

バラ科リンゴ属の樹木で、３月中旬から下旬に約３センチメートルの淡いピンク色の桜とそっくりの花を咲かせます。ハナカイドウやノカイドウよりも花柄が２センチメートルと短いのが特徴です。

たかなべ彩りリレーマラソン

10月６日、めいりんの湯周辺を使ったコースで、第８回たかなべ彩りリレーマラソンが行われました。

秋晴れの中、過去最多の42チーム358人のランナーが参加し、職場の仲間や家族、友人などとたすきをつないで絆を深めていました。

四季彩のむらには黄金色の稲穂が広がり、秋色たっぷりの中走るのはとても気持ちよさそうでした。

僕たちも応援したよ♪

－ 大好きなたかなべの風景 －

10月31日、「第８回高鍋町景観絵画コンクール・景観写真コンテスト」の表彰式が役場で行われました。それぞれの個性が詰まった作品は、どれも見入ってしまうものばかりでした。

受賞者の皆さん

◆金賞受賞作品

絵画部門　松本（まつもと）　太陽（たいよう）さん（高鍋東小２年）

写真部門　脇元（わきもと）　恭有（やすくに）さん（一般）

毎回大盛況！

子育て応援フェスティバル

ミニカーレース

食育体験

みやざき犬たちのパフォーマンス

10月27日、コンフォール健康センター（高鍋町健康づくりセンター）で、第13回高鍋町子育て応援フェスティバルが開催されました。このイベントは、子育てを地域全体で支えあう機運を高め、行政・企業・ＮＰＯ法人などが行う子育て支援事業をわかりやすく家庭に伝えることを目的に、平成18年度より毎年開催しています。

当日は約1,200人の来場者が訪れ、赤ちゃんハイハイ競争や手作りひろばでの小物づくりなどのイベントが開催され、それぞれ大いににぎわっていました。

手づくりひろば

赤ちゃんハイハイ競争

三輪車レース

地域防災マネージャーコラム☆Vol.7

今回のテーマ　**自分の命は、自分で守る**

令和元年最後の防災マネージャーコラムとなりました。今年も６月の大雨から始まり、台風の影響が２つ。町内には直接の被害はなかったものの、延岡市では竜巻によるものと思われる甚大な被害も確認されています。

高鍋町は今、出水期と台風期を過ぎ、災害の少ない時期に入っています。しかし、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」ではいけません。いつ起こるかわからない災害に備え、町では随時「高鍋町地域防災計画」の見直しを行い、よりしっかりとした防災体制を整えています。こういう時期だからこそ、今一度、ご家庭でも防災について話し合い、備蓄品、非常持出品の確認・更新をしておきましょう。

役場の総務課では「減災グッズチェックリスト」をご用意しています。ぜひご家庭の防災備蓄等のご参考にしてください。

「自分の命は、自分で守る」ご自分の、ご家庭の「防災レベル」を向上させましょう。

地域防災マネージャー　織田　範之